

リハビリが必要な高齢者
 によりやく笑顔。県境地
 震で被害を受け、入所者1
 10人全員が避難した津南
 町小下里の介護老人保健施
 設みさと苑。震災から2カ
 月が過ぎ、今月16日から通
 所リハビリテーションだけ
 再開した。「早く再開して
 ほしいという強い要望があ
 りました。まだ一部事業で
 すが再開できてうれしいで
 す」と島田益子津南関東事
 業部長。近隣の17施設に分
 散避難した入所者は来月10
 日をメドに、110人全員
 が戻ってくる予定だ。



被災したみさと苑の通所リハビリテーションが再開
 ゲームなど楽しむお年寄りたち(18日、同苑で)

震災から2カ月、リハビリを再開

介護老人保健施設みさと苑

110人の入所者、来月10日にメド

受けられなくなると、各家
 庭で何もせず過ごす状態
 となることが多くなり、健
 康に大きな支障が出るとい
 われている。また十日町地
 域には通所リハビリの事業
 を行っている施設はみさと
 苑を含め4カ所しかなく、
 津南地域では津南病院も行
 っているものの送迎や入
 浴、食事の提供はなく、利
 用者や家族からは早急な再
 開が望まれていた。

地震の影響で食事を提供
 する調理場は、隣接するリ
 パーサイドみさと苑の厨房を
 「間借り」するという状態
 だが、それでも毎日、20人
 余りを受け入れている。80
 代の女性は「本当に助かり
 ます。ここに来られなくな
 ると楽しみがなくなってい
 まうんです」と話し、衣類
 たたみゲームなどに笑顔を
 見せていた。

れ管内は水浸しとなり、入
 所者全員が他施設への避難
 を余儀なくされた。

うち、同施設で通所リハ
 ビリを受けている高齢者は
 2百人余り。骨折や脳梗塞
 後のリハビリなどが主で、
 軽い体操や入浴、食事の提
 供もある。こうしたケアが

島田部長は「まだ通所リ
 ハビリだけですが、本当に
 ようやくという感じでは
 入所者を受け入れて下さっ
 た近隣の施設には感謝で
 す。いつもの状態に戻って
 運営することが、震災に負
 けないで進むということだ
 と思います」と話している。